

「消防団の力向上モデル事業」 事業紹介

事業名 消防団のイメージアップ事業

自治体名

安中市

消防団名

安中市消防団

1 事業の目的・必要性

- ・消防団員の活動服が統一されていないため、火災発生時、消防団役員の識別や団員と消防職員との連携に課題があった。また、各分団に配備しているヘルメットが耐用年数を経過しているため、団員の安全性の確保に懸念があった。
- ・統制された活動服とヘルメットを配備することで、消防団の士気の高揚及び災害対応力の向上を図り、消防団のイメージを上げることにより、加入促進へ繋げることを目的とした。

2 事業内容

- ・消防団員150名（部長・班長・運転手・ラッパ手）を対象に、活動服を貸与した。
- ・各分団（1つの部につき10個）を対象に、ヘルメットを340個貸与した。

3 事業成果

- ・活動服及びヘルメットは、令和5年9月中に対象者へ配布し、令和5年10月以降、消防ポンプ操法競技大会・歳末火災予防運動に伴う防火広報・林野火災想定訓練などで活用した。
- ・活動服及びヘルメットは、令和5年10月以降に発声した5件の火災時に活用し、163名（延べ人数）の団員が出動した。
- ・安中消防署と合同で林野火災想定訓練のため、事前説明会を開催し、消防職員との連携強化を図った。林野火災想定訓練当日は、消防団役員が率先して消防署員と連携して行動することができ、訓練の成功につながった。
- ・1年間で新入団員を58名（機能別団員を含む）増やすことができ消防団加入促進につながった。

4 目標達成状況

指標	単位	当初目標	実績値	備考
新入団員	人数	20人	58人	・新入団員は機能別団員を含む ・説明会は2回開催 ・防火広報は正確な見学者を把握できず。
説明会	人数	100人	67人	
防火広報・訓練見学者	人数	300人	数十人	

5 その他参考情報

